



2023年11月14日

各位

会社名 株式会社 大谷工業
代表者名 代表取締役社長 鈴木 和也
(コード：5939、東証スタンダード市場)
問合せ先 常務取締役管理グループマネージャー 中澤 忠彦
(TEL. 03-3494-3731)

第2四半期累計期間業績予想と実績の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ

2023年5月9日に公表いたしました2024年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、お知らせいたします。併せて、2024年3月期通期の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績の差異（2023年4月1日～2023年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,805	124	124	86	110.37
実績(B)	3,807	176	180	123	158.20
増減額(B-A)	2	52	56	37	—
増減率(%)	0.1	42.3	45.6	43.3	—
(ご参考) 前年同四半期実績 (2022年3月期第2四半期累計)	3,316	123	127	89	114.81

2. 2024年3月期通期予想の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,629	220	220	150	192.51
今回修正予想(B)	7,730	295	300	220	282.34
増減額(B-A)	101	75	80	70	—
増減率(%)	1.3	34.1	36.4	46.7	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	7,189	250	257	173	223.15

3. 差異および修正の理由

当第2四半期累計期間の業績につきまして、電力業界はレベニューキャップ制度が導入された影響もあり、電力の安定供給の為に、送電設備の老朽化対策や、電柱の建替え工事が増えております。また、建設業界は首都圏などの再開発や、物流倉庫、データセンターなどといった大型物件の着工が増加しています。このような状況下で、材料価格の高騰による原価高は依然として継続している為、製品販売価格への転嫁を実施したことや、業務改善等による製造コストの見直しを図ったため、営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも前回



発表予想を上回る結果となりました。

通期の業績予想につきましても、当第2四半期累計期間の業績や販売動向などを勘案して前回予想数値を上回る見通しとなりました。

(注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上